



【森林保全部門】

香川所における二ホンジカ獣害対策について

香川森林管理事務所
森林技術指導官 藤田 宏之
総務グループ 阪上 優華

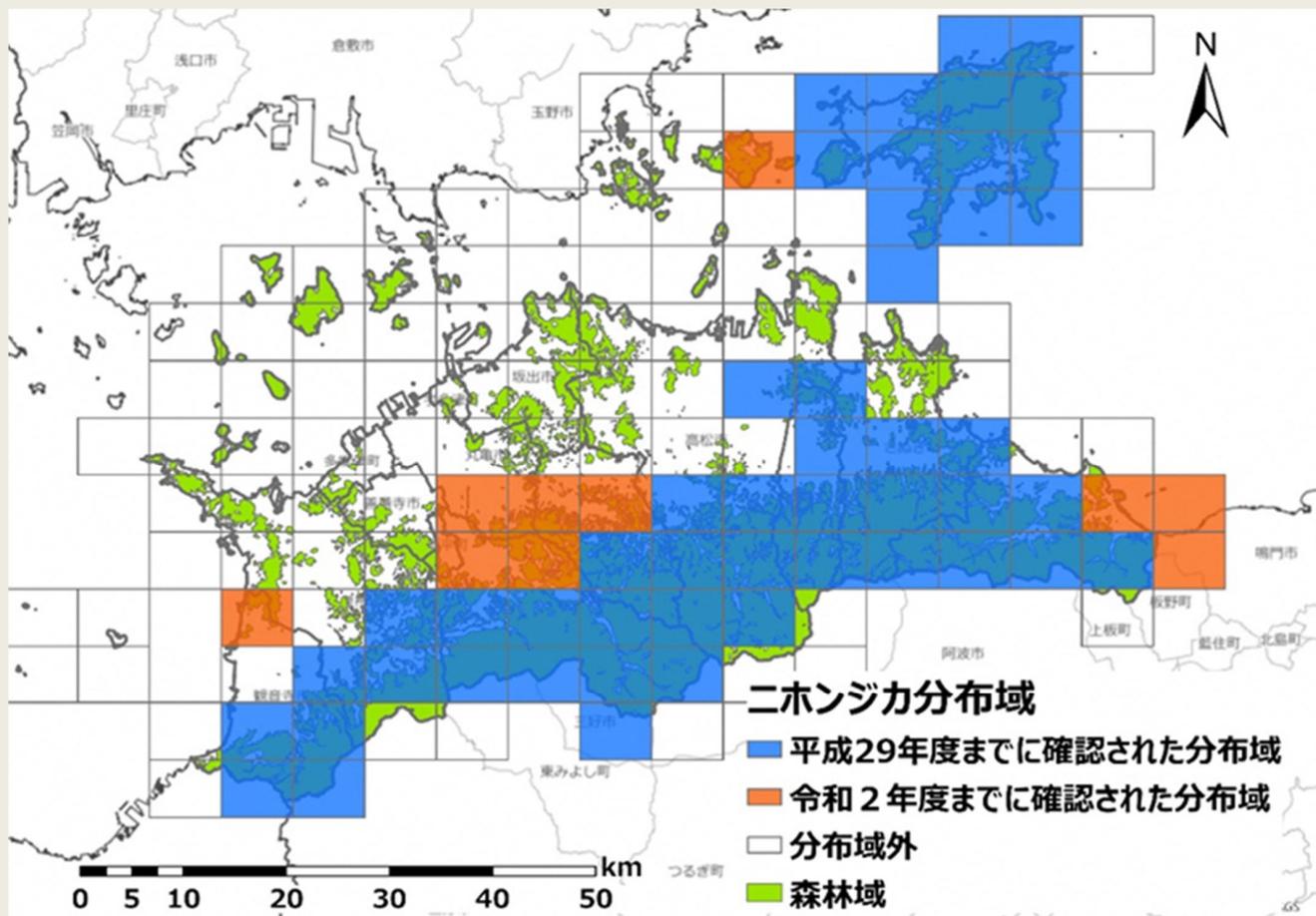
1

Contents

- 1 香川県の二ホンジカの現状
- 2 獣害対策のアンケート
- 3 現地検討会の開催
- 4 検討会後のアンケート結果
- 5 現地検討会を終えて

2

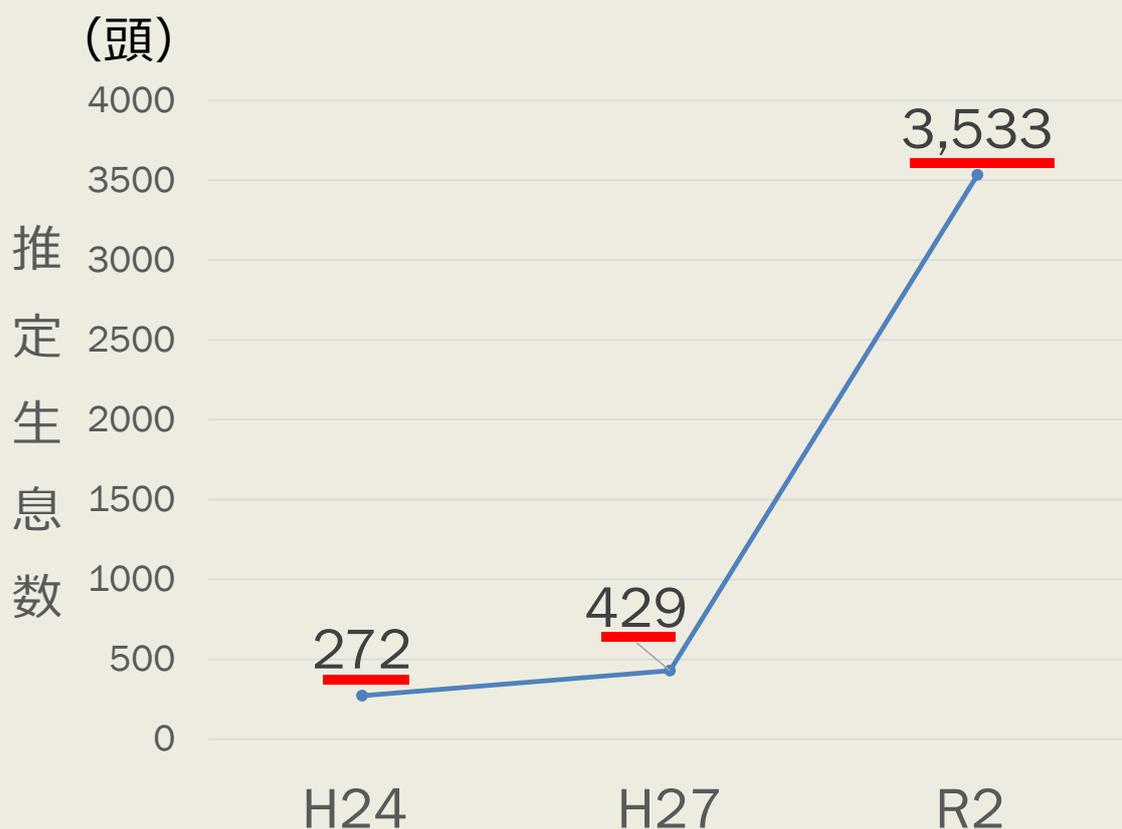
香川県内の二ホンジカ分布域



* 香川県二ホンジカ第二種特定鳥獣管理計画. <https://www.pref.kagawa.lg.jp/documents/191112/shika2syu.pdf>. 2023-11-27

3

香川県（本土部）における二ホンジカ個体数の推移



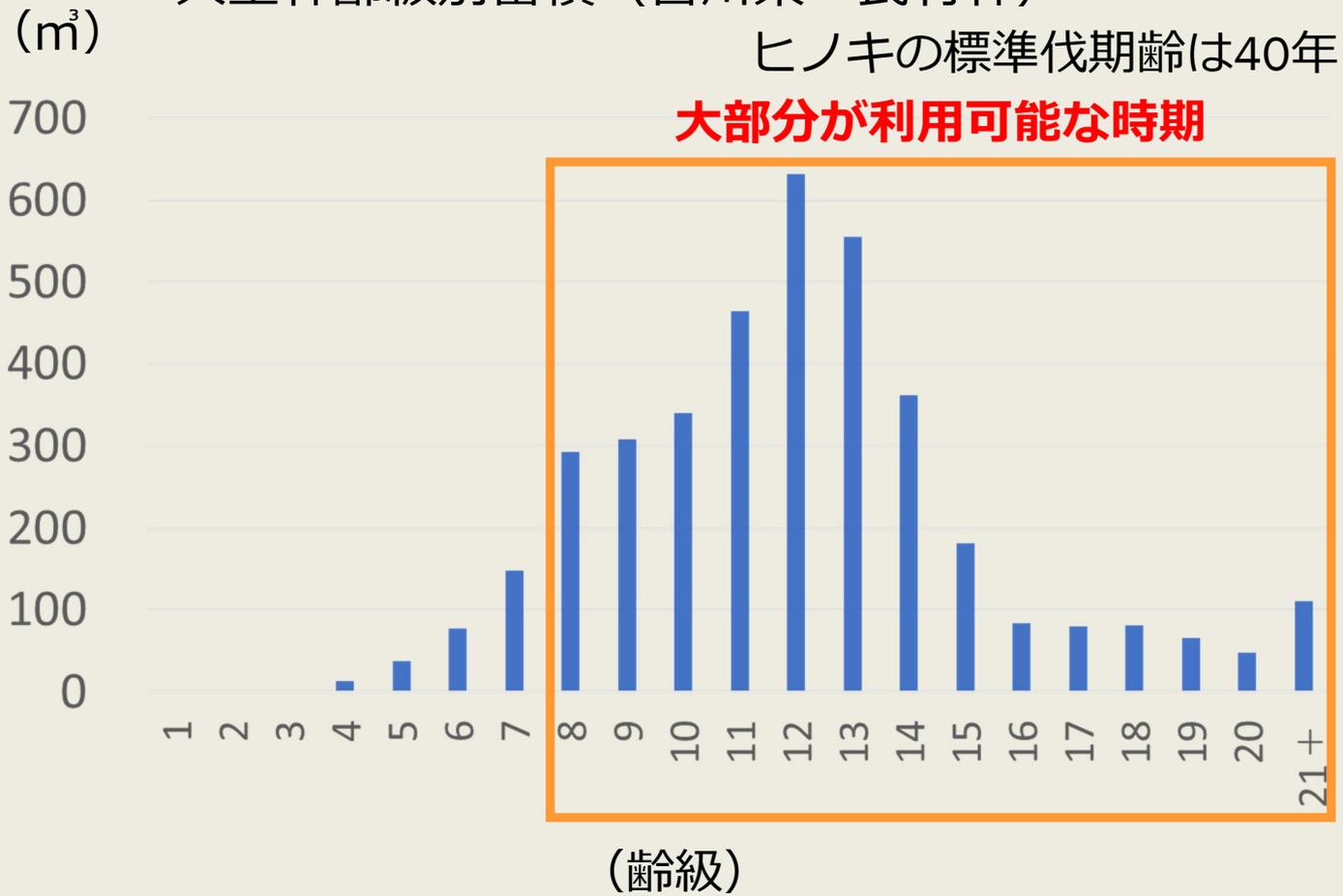
※香川県みどり保全課「二ホンジカ第二種特定鳥獣管理計画」

4

人工林齢級別蓄積（香川県 民有林）

ヒノキの標準伐期齢は40年

大部分が利用可能な時期



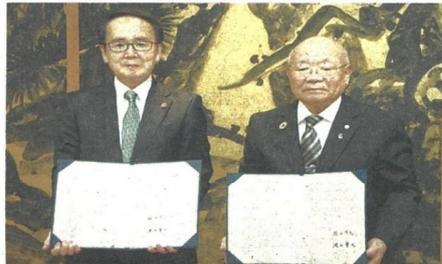
四 国 業 庁 局 長
2023年（令和5年）10月13日（金曜日）

県産木材利用促進へ協定

県と県木材協 脱炭素も連携

県と県木材協会（樋口浩良会長）は11日、県産木材の利用促進に関する協定を県内で初めて結んだ。県産木材の安定的な供給などを通じて建築物への利用を促すことに加え、脱炭素社会や持続可能な社会の実現に

県産木材の利用促進に向けて協定を締結した池田知事（左）と樋口会長＝県庁



向けても連携して取り組んでいく。

国は、適切な伐採と植林で森林の二酸化炭素(CO₂)吸収機能を高め、脱炭素社会の実現を目指す観点などから建築物への木材利用を推奨。公共施設を対象としていたが、2021年の法改正で、民間建築にも利用を促すことになった。

法改正を受け今回の協定が実現。県庁であった締結式には、池田知事や樋口会

長らが出席し、協定書にサインを行った。協定では▽情報共有や意見交換を行う▽森林資源の循環の意義を普及啓発するーなどに取り組むとしている。

知事は「県内のヒノキの人工林は利用期を迎えている。助成を行い利用促進につなげたい」とあいさつ。樋口会長は「県産ヒノキは強度の高さが特徴。協定を機に脱炭素社会に向けても取り組む」と述べた。

県によると、23年3月末現在、県内の民有林でヒノキ人工林の面積は1万1597畝。このうち約8割が木造住宅の柱などに利用可能な時期を迎えている。

二ホンジカの増加 民有林の主伐促進



増加した二ホンジカによる再造林地の被害が予想される。



シカによる森林被害の防止が必要

7

鳥獣被害防止計画に記載されたシカの被害傾向

高松市

南部地域の中山間部で**生息が確認**され、今後、**生息域の拡大及び被害の発生が危惧**される。

* 「高松市鳥獣被害防止計画」より引用

丸亀市

被害の報告はないが、他市町において生息域の拡大が報告されていることより、対象鳥獣として動向を注視していく。

* 「丸亀市鳥獣被害防止計画」より引用

観音寺市

山間部で生息が確認されており令和4年度については、**15頭の捕獲実績**があった。

* 「観音寺市鳥獣被害防止計画」より引用

鳥獣被害防止計画に記載されたシカの被害傾向

東かがわ市 **個体数が増加**しており**農作物被害が懸念**される。

*「東かがわ市鳥獣被害防止計画」より引用

三木町 **被害は現状把握していない**が、町南部の中山間地域において生息が確認されており、**生息区域の拡大や今後の被害の発生が懸念**される。

*「三木町鳥獣被害防止計画」より引用

綾川町 現時点での**農作物被害報告は無い**が、近い将来綾川町内への出没も予想される。

*「綾川町鳥獣被害防止計画」より引用

まんのう町 正式な**被害報告はない**が、稲の被害が口頭で報告されている。

*「まんのう町鳥獣被害防止計画」より引用

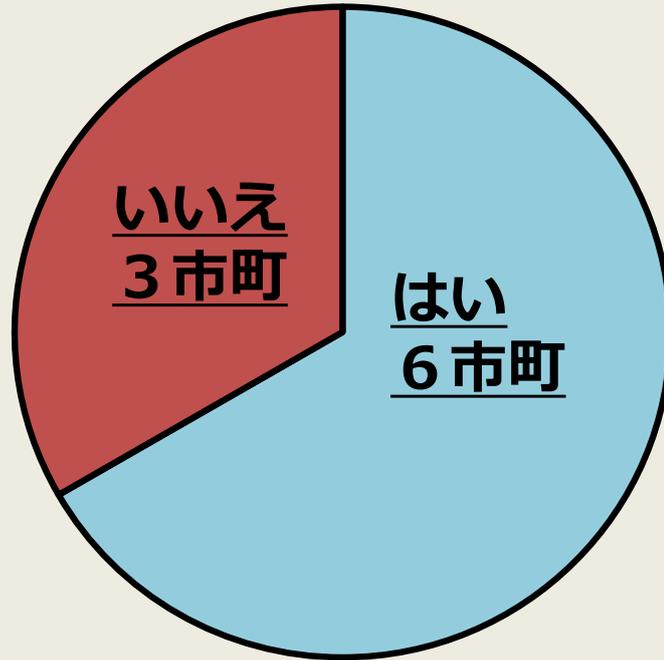
9

獣害対策のアンケート

獣害対策に関するアンケート

- ・香川県内で二ホンジカが増えていると感じますか。
- ・鳥獣被害はありますか？
- ・シカ被害に実感が湧かない理由は？
- ・獣害対策で困っていること
- ・こじゃんと1号・2号をご存じですか。

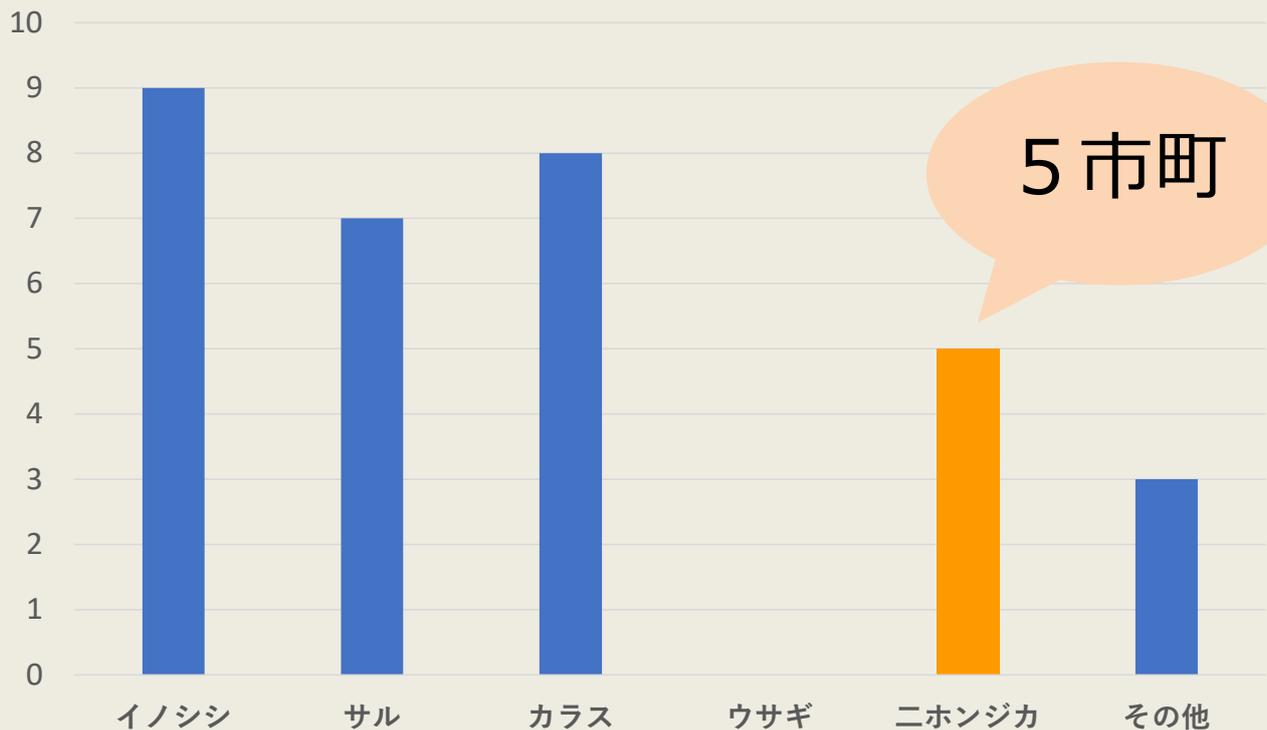
Q香川県内で二ホンジカが増えていると感じますか。



11

Q鳥獣被害はありますか。

*複数回答可

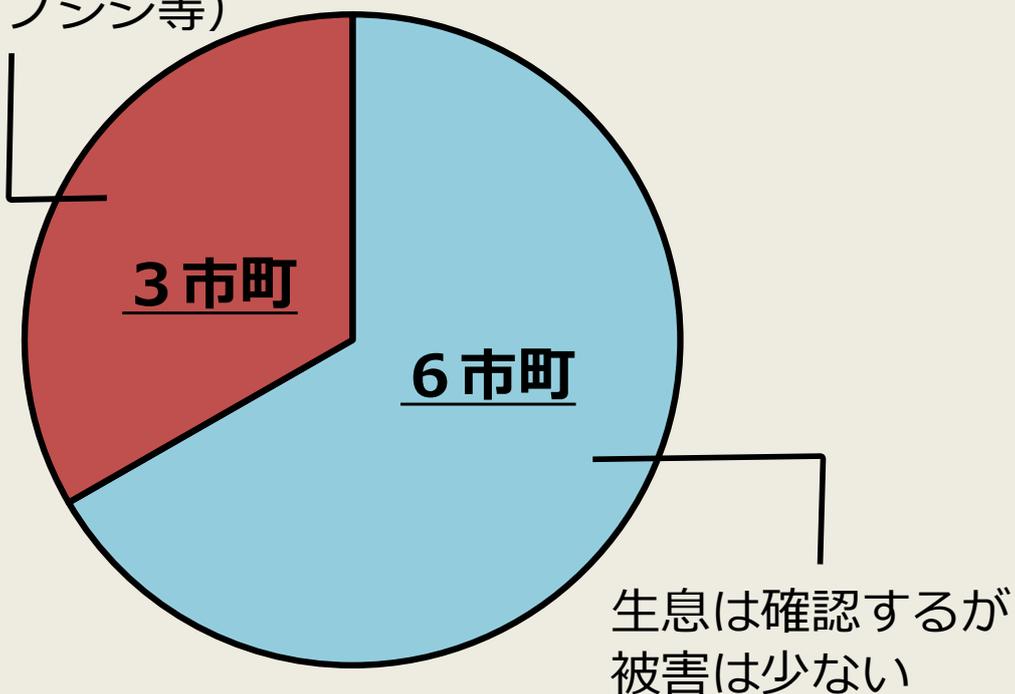


シカによる被害が少なからず発生

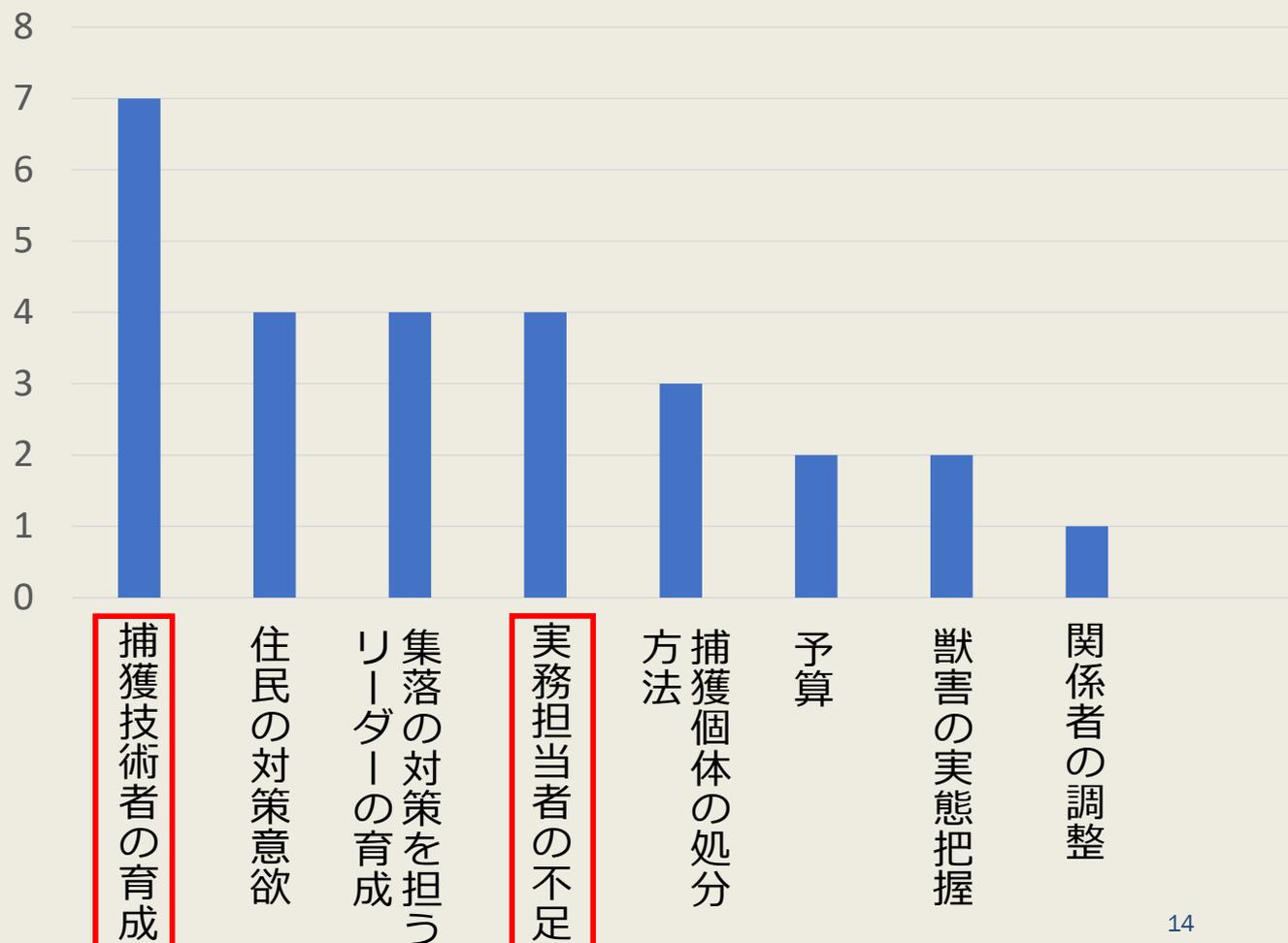
12

Qシカ被害に実感が湧かない理由は？

シカより獣害が深刻な動物
がいるため（イノシシ等）



Q獣害対策で困っていることを教えてください。



二ホンジカ獣害対策現地検討会



- 四国森林管理局の二ホンジカ被害対策の説明
- 映像の視聴によるほかパトの説明
- 参加者による「こじゃんと1号」の組立、解体
- 意見交換会

15

苗木の食害



皮剥ぎ



16

シカ防護柵



単木保護ネット

17

(頭)

香川所管内のニホンジカ捕獲実績



捕獲数増加

18



誰にでも扱いやすい

こじやんと1号

重量：58 k g
縦：130cm
横：80cm
奥行：180cm
開口部：75cm

※軽四トラックであれば組み立てたまま移動可能



こじやんと2号

重量：102 k g
縦：160cm
横：110cm
奥行：220cm
開口部：110cm

※1トントラックであれば組み立てたまま移動可能

負担軽減



子機



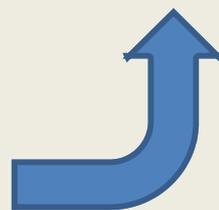
電波の受信



登録した端末



メールによる通知



親機

トレイルカメラ（センサーカメラ）による行動監視



21

囲いわなの説明



22



囲いわなの設置に免許は必要？

囲いわなで効率的に捕獲する方法とは？

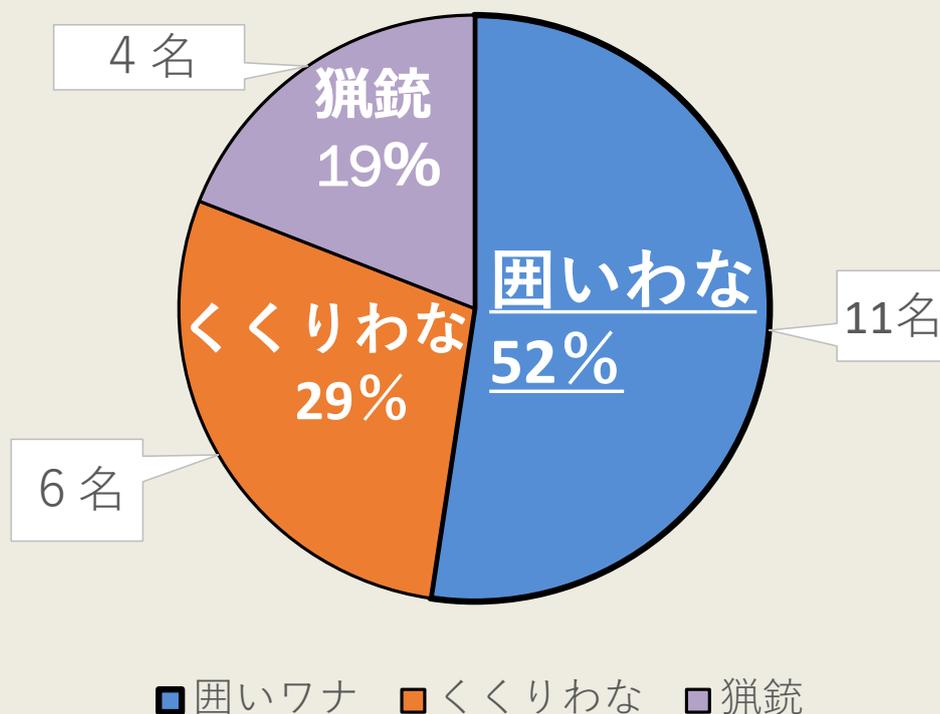
シカ捕獲後の止め刺しは誰が行うのか？

成獣のオス・メス・子ども、それぞれが捕獲しやすい方法や好む餌のデータがあれば共有してほしい！

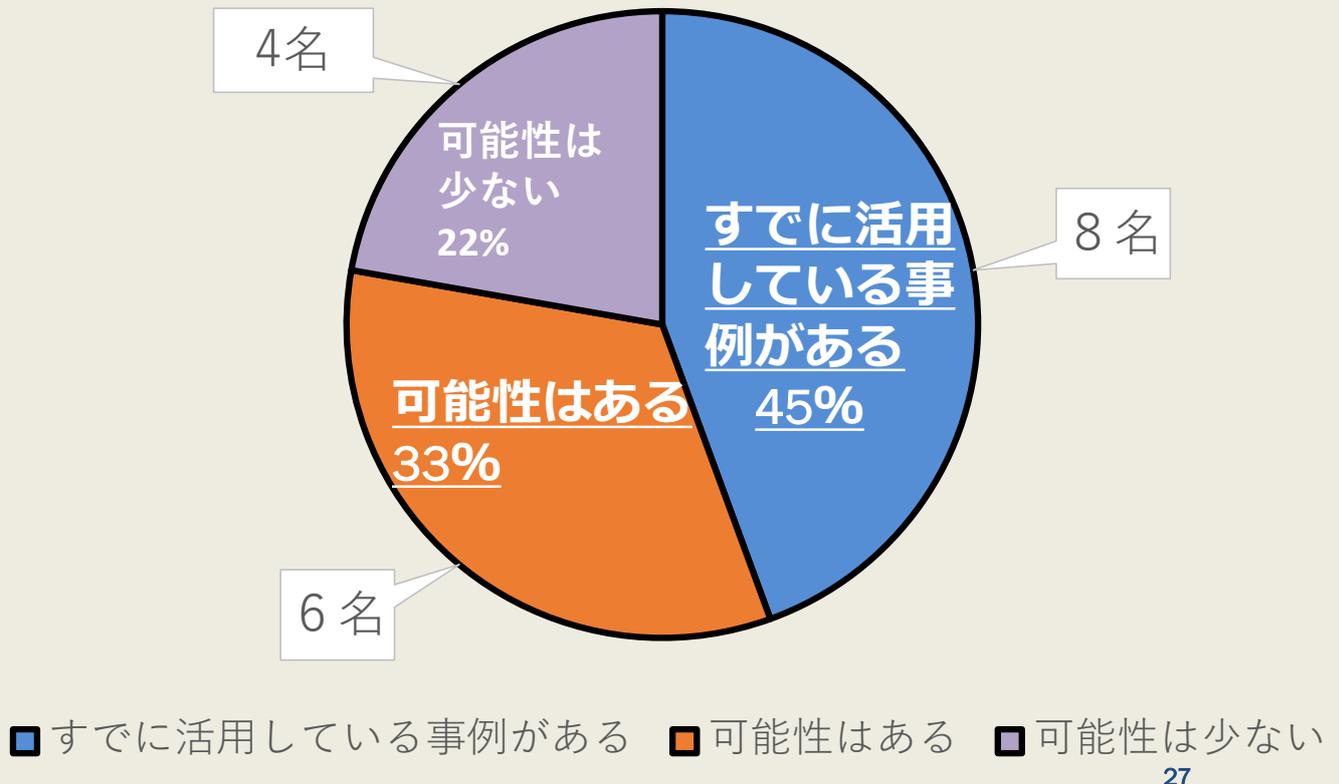
25

検討会終了後のアンケート結果

Qシカ捕獲のために取り組みたいと思う対策はありますか。



Qあなたの住む市町でジビエへの活用が行われている、または将来的にその可能性があると思いますか。



27

現地検討会を終えて

現地検討会を終えて

- 現地検討会を通して、**シカ被害拡大に対する危機感を参加者に伝えることができた。**
- 今後市町が進める獣害対策の選択肢の1つとして、**「囲いわな」が認識**された。



**現地検討会の開催を通して、
関係機関と情報共有を行いたい！**



ご清聴ありがとうございました。

香川森林管理事務所
森林技術指導官 藤田 宏之
総務グループ 阪上 優華